

発行所

医療法人財団五省会西能病院

〒930 富山市五福1130

TEL (0764) 41-2481(代)

発行人 西能 正一郎

五省会ニュース

通院バス

“病院が近くなつた”

2つの新コース運行から十ヵ月



富山市金屋地内を走る通院バス

受傷の体験から

西能正一郎

患者さんたちの声を――

二コースの運行バスで

帰りに間にあわない

男性（五二）は五十六

年に脳溢血で、県立中央

院に入院、さらに西能病

院に入院。退院してから

院に転院。退院してから

で通つてているという。

便利になつたので気も、ずっと通院している。

今は内科、整形外科そしてリハビリと、二時間はかかるという。

患者さんたちの声を――

二コースの運行バスで

帰りに間にあわない

男性（五二）は五十六

年に脳溢血で、県立中央

院に入院、さらに西能病

昨年十二月十日から神通川以西の二つの新コースで、午前中それぞれ二便の通院バスにて、「もうなじんだね、病院がうんと近くなつた」と喜んでいる。病院では、まだバスの運行を知らなかつたり、運行時間がわからず不便を感じている人たちが多いとみて、運行経路の要所要所に運行時刻表を掲示、運行地域に颁布して、さらに漫遊をはかることにしている。

臨時便を増発して対応

本紙七月号の一面、医療法人・財団五省会の「暑中お見舞い」で、「評議員・尾山征一郎」の名前が掲載漏れになりました。お詫びいたします。

なかで、北代から乗つた男（五二）は、夫が入院中で、二日に一度の割合で通つていています。昔は虫の音が他の虫の音を消すことが多いとこ

と足もとの草むらですだいていたが、今は野に行つても木の上の、この外で通つていています。秋の虫の声の代表といえればコオロギだが、古くはキリギリスと混同していたらしい。キリギリスを別名「はた織り」という通り「はた」の音に似てギーチヨンと鳴くが、鳴くのは主に初夏の昼間で、晚秋の夜に鳴くのが

いた。昔は虫の声を

患者さんには病気の納得を

「説明と同意」の重要性を再確認

このり、右の眼を動かす神経が麻痺したため、今でも

複視があります。又胸が押

しつぶされたために肋骨が

痛みます。

このり、右の眼を動かす神

経が麻痺したため、今でも

複視があります。又胸が押

しつぶされたために肋骨が

痛みます。</

